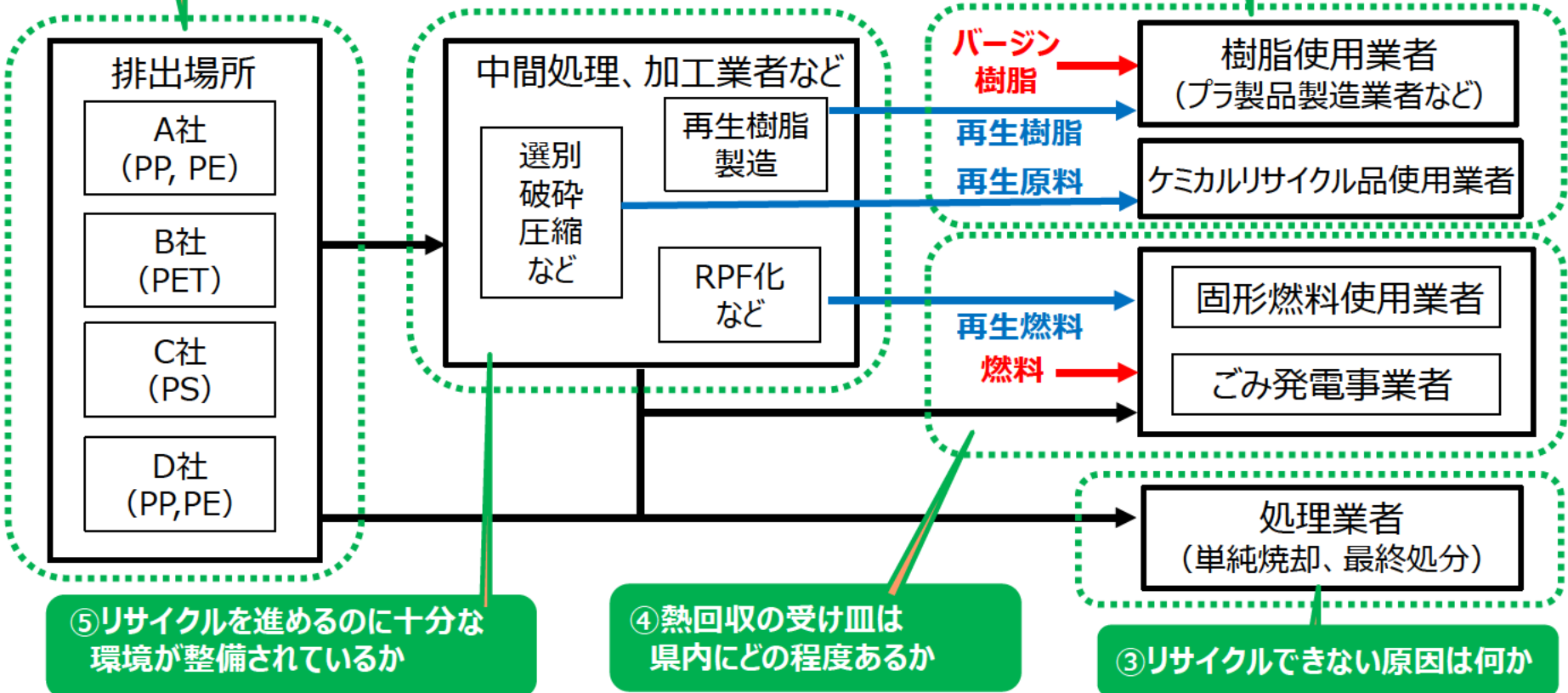


(参考) プラスチック資源循環戦略の目的を達成するために必要と考えられる調査

①どこから、どのような種類、性状のプラスチックが排出されているか。

②どのような樹脂の需要があるか
(マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル)



<プラスチック資源循環戦略>

2035年までにすべての使用済プラスチックを熱回収も含め100%有効利用することを目指す。